

ありがとう10周年！ これからも柏崎と。



問元気発信課 TEL47-7333 FAX24-7714

柏崎を応援したい、関わりたいと全国に広がったファンクラブの輪。

人と人との縁と温かい応援に支えられて、柏崎ファンクラブは10周年を迎えました！

柏崎を思う仲間

カード会員証発行者数※1

12,320人

これまでに入会いただいた会員は1万2千人以上！
10年間で全国47都道府県に広がりました。

※1 カード会員証は令和6（2024）年9月で発行終了。現在はLINEの電子会員証に切り替え。

柏崎とつながる仲間

ファンクラブLINE有効友だち数※2

5,269人

令和6（2024）年にスタートしたファンクラブLINE公式アカウントは、5千人を超える方が登録しています。

※2 令和8（2026）年8月末現在

市外のファンクラブ会員割合

約6割

会員全体の約6割が、市外から柏崎を応援してくれています。このうち、東京をはじめとした首都圏や関東圏にお住まいの方が約30%です。

地域	割合
柏崎市内	40.2%
新潟県内（柏崎市除く）	13.1%
東京都	15.1%
神奈川県	6.3%
埼玉県	4.5%
千葉県	3.2%
群馬県	1.6%
その他	16.0%

10年間の主な出来事

2016

柏崎ファンクラブ設立



2018

会員特典 Premium
スタート
かしわざき岬めぐり



ファンクラブ通信発行

首都圏交流会



2021

ファンクラブ設立5周年
会員数1万人突破！

2024

ファンクラブLINEスタート

柏崎ファンクラブ、その原点

元協議会メンバーインタビュー

平成 28 (2016) 年度の創設から、会員数 1 万人の目標を達成した令和 3 (2021) 年度まで運営に携わった当時の柏崎シティセールス推進協議会^{*1}ファンクラブの礎を築いた当時のメンバーにお話を伺いました。

※1 現在は柏崎市がファンクラブを運営



村田奈緒さん

伊藤達栄さん

峰尾茂さん

ファンクラブ設立を振り返って

伊藤 以前から首都圏では柏崎出身者の交流会があり、柏崎を盛り上げたいという気持ちがありました。そうした人たちをつなぐ場として、ファンクラブをつくろうという話になりました。

村田 市内外で関わりのできた若い世代の人たちが、今もいろいろなところで活躍しています。ファンクラブが、そうした人たちの横のつながりをつくるきっかけになったのは大きかったと思います。

峰尾 私は県外から柏崎に来た人間なので、活動を通じて柏崎のことをよく知ることができました。一緒に活動する中で人とのつながりもできましたし、自分自身が柏崎を知って、魅力を伝えられることが大きな楽しみでした。

柏崎のファンを増やす取り組み

伊藤 当時は、ふるさと納税をもっと伸ばしていこうという動きがあり、出身者とのネットワークをつくる必要がありました。ファンクラブができ、首都圏で交流会を開催したり、出身者のお店を訪ねたり、柏崎の情報や産品を紹介したりとつながっていききました。

峰尾 イベントに積極的に参加して、来場者に直接声をかけて入会してもらいました。メンバーはボランティアでしたが、みんな自分の得意なことを持ち寄って頑張っていました。それが楽しかったんですよね。

村田 イベントや交流会に毎回参加してくださる方がいて、本当にありがたかったです。一つ一つの活動を積み重ねていく中で、たくさんの出会いがあり、交流を深めることができました。

ファンクラブに期待すること

村田 以前は直接会って入会してもらうことが多かったですが、今はデジタル化されました。「今はどうなっているの?」というファンの方もいるので、接点づくりやアナログな活動、その発信も大事にしてほしいですね。

峰尾 入会した方が「私もファンクラブの一員」と実感できるようなきっかけがあるといいです。会員であることによって、柏崎を身近に感じられるようになればと思います。

伊藤 会員一人一人が柏崎のことを発信してくれることが、ももとのファンクラブの考え方でした。特別なイベントだけでなく、何気ない柏崎の日常を発信することも大切です。

印象に残っていること



「柏崎学」の授業で小学校などに出向いたことです。私たち一人一人が柏崎の魅力を伝える、大切なセールス活動の一つだったと思います。



42kmの海岸線にある7つの岬めぐり企画。こんな身近に絶景があるんだと改めて気付かされました。



イベント出展で、来場者と直接交流できたことが印象に残っています。会員との交流を大切にしていました。

あの日、あの場所、柏崎で。

会員の心に残る柏崎の思い出



掲載エピソードの全文と
その他お寄せいただいた
エピソードは、市 HP で紹
介しています。

10 周年の節目に、会員の皆さんから「私と柏崎」にまつわるエピソードを募集しました。

忘れられない景色・出会った人・心に残る出来事…。あなたにとって何気ない風景も、誰かにとっては特別な柏崎の魅力かもしれません。

走るたび、好きになる柏崎

「マラソン大会があるんだけど一緒に走らない？」リターンした友人に誘われて参加した柏崎マラソン。小雨の中のハーフマラソンは本当に大変でしたが無事完走。海沿いの景色や沿道の温かい応援、完走後にソルト・スパ潮風で汗を流したときの気持ちよさに深く感動しました。

海なし県に住む私にとって、友人に案内してもらった海沿いの風景も魅力でした。それ以来毎年大会に参加し、柏崎の良さを再確認しながら帰路についています。

(いっととさん 40代・栃木県在住)



初めての柏崎マラソン



12 年間の通学路

色あせない街の記憶

北園町から柏崎小・一中・柏高へと 12 年間同じ通学路を歩きました。夕方の校舎に響く「G 線上のアリア」に天国のような美しさを感じた思い出や、クリスマスに音楽が流れた本町通りの賑わい、駅前通りの「こづちや」へ遊びに行った日々が懐かしいです。

まちの景観は変わっても、私の中の当時の温かな記憶が色あせることはありません。(本間光一さん 50代・柏崎市在住)

いつもそこに「米山」

高校の中間試験が終わった後は米山登山でした。

久しぶりの同期会で柏崎に帰った時も電車の中でも、駅からもホテルでも確認したのは米山でした。

(シゲヨちゃんさん 70代・栃木県在住)



柏崎に勝る花火なし

我が家は海の大花火大会が大好きです。

ここ数年行っていますが、花火はもちろん、スタッフの対応がとても良いです。

いくつか花火大会には行きますが、柏崎に勝る所はありません。(はるみさん 50代・山梨県在住)



ひろがる つながる 柏崎ファン

柏崎ファンクラブでは、イベントの主催、出展、会員向けの企画やキャンペーンなどを通じて会員の皆さんと交流を図り、楽しく末永く柏崎を応援いただくためのさまざまな取り組みを行っています。



▲ 取り組みの詳細

ひろがる

柏崎の魅力を市外・首都圏に届け、柏崎にゆかりのある人とのつながりを深める活動を行っています。

首都圏での交流イベントや出身選手の応援、県外からの雪国ボランティアの皆さんとの交流など、柏崎を身近に感じてもらう取り組みを進めています。

市内のイベントにも出展！ のぼり旗を見つけたら、ぜひお立ち寄りください！



▲ 昨年の首都圏イベント



▲ 会員が出身選手を応援！



▲ PR イベントでの交流

つながる

ファンクラブへの入会は、**LINE** で受け付けています

イベントやふるさと納税、U・Iターン情報など、柏崎の最新情報をお届けします。

デジタル会員証の表示や会員特典 Premium など、便利な機能も。

会員特典 プレミアム Premium

ファンクラブ LINE を使って、市内や首都圏のお店で割引やプレゼントなど、会員限定の特典が受けられます。LINE から利用できるお店も探せるので、お出かけやお買い物をもっとお得に楽しめます。

LINE 公式 アカウント



▲ 友だち追加は
こちらから



▲ 提供店は
LINE で
簡単検索！

入会費・年会費無料！

デジタルスタンプラリーや会員限定企画など、楽しい機能を LINE で気軽に利用できます。

機能の詳細は
こちらをチェック！



地域の医療を、みんなで守る

上手な医療のかかり方

閩国保医療課 TEL43-9141 FAX24-7714

医師や看護師不足、近年の物価高騰などにより、病院を取り巻く環境は厳しさを増しています。

必要なときに安心して医療を受けられる地域を作るため、医療を提供する病院や市はさまざまな取り組みを行っていますが、同時に医療を受ける**私たち一人一人の受診の仕方也很重要です。**

医療機関への上手なかかり方を知り、これからの医療との関わり方をみんなで考えましょう。



■まずは「かかりつけ医」に相談を

体の不調を感じたら、まずはかかりつけ医に相談しましょう。かかりつけ医とは、体や病気のことを気軽に相談できる、身近で頼りになる主に開業医の医師です。

日頃から自分の体や病歴、生活習慣を把握している医師がいることで、ちょっとした体調の変化にも気付いてもらいやすくなります。



かかりつけ医を持つメリット

- 1 ちょっとした体調の変化にも気付いてくれるため、病気の予防や早期発見、早期治療につながりやすくなります。
- 2 必要に応じて、専門医、専門医療機関を紹介してもらえます。
- 3 将来、高齢や病気で通院できなくなったときも訪問診療などの相談に乗ってもらえます。

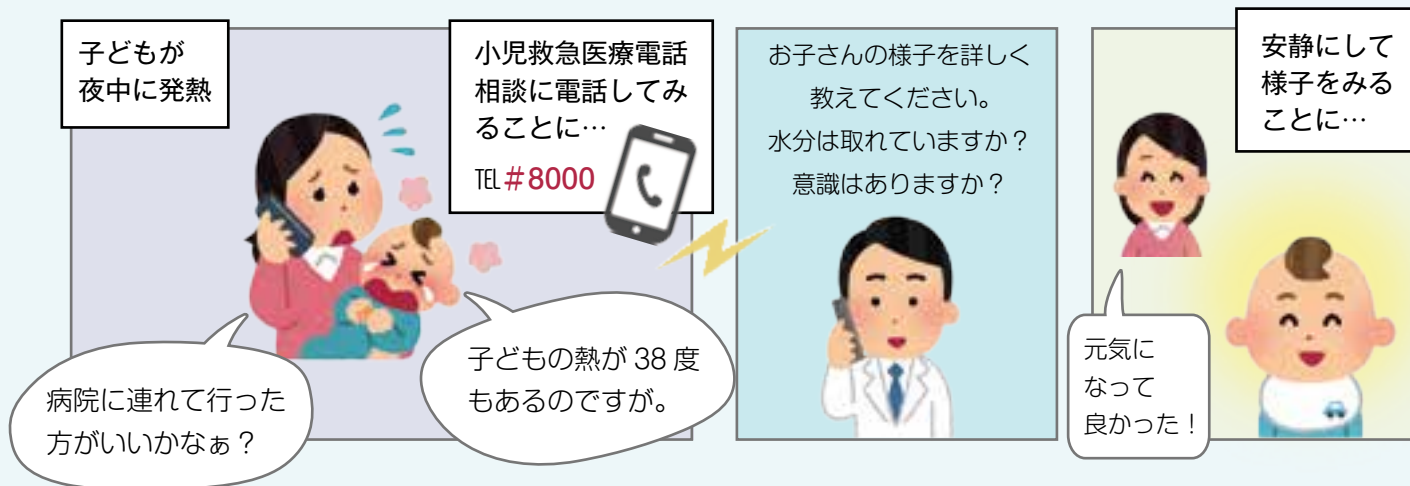
かかりつけ医の選び方Q&A

- Q** かかりつけ医はどうやって選ぶの？
- A** 自分に合うと思うかかりつけ医を自身で決めてください。
- Q** かかりつけ医は1人だけなの？
- A** 複数の診療科に通院している場合は、それぞれの科で選ぶことができます。

■夜間・休日は救急医療電話相談を

夜間や休日、急な体調不良で病院に行くべきか迷った時は、救急医療電話相談をご活用ください。経験豊富な看護師が、受診の必要性や家庭での対処方法などを助言してくれます。

※広報かしわざきでは、相談時間、電話番号などを毎号掲載しています。15歳以上の方も、TEL **#7119** から相談できます。詳細は **34 ページ** をご覧ください。



■日頃から感染症に備えましょう

感染症流行期は医療機関も混雑します。日頃からの備えが大切です。まずはマスクの着用や手洗い、うがいなど、感染予防に努めましょう。それでも発熱などの症状が現れた場合に備え、検査キットや解熱鎮痛薬を事前に用意しておくで安心です。



※検査キットでインフルエンザの陽性反応が出たら、あらかじめ相談の上、医療機関を受診しましょう。

■電子書籍版で最新情報を確認

令和7(2025)年1月に配布した医療・介護ガイドブック。医療との付き合い方や救急医療の仕組み、急病時の対処法などをまとめています。電子書籍版では、医療機関一覧などの最新情報を確認できます。

電子書籍版▶



地域医療を未来へつなぐために

柏崎総合医療センター病院長インタビュー

地域医療を守るために、病院はどのような役割を担っているのでしょうか。柏崎総合医療センター病院長の相田浩さんに、現状や課題、住民の皆さんへの思いを聞きました。

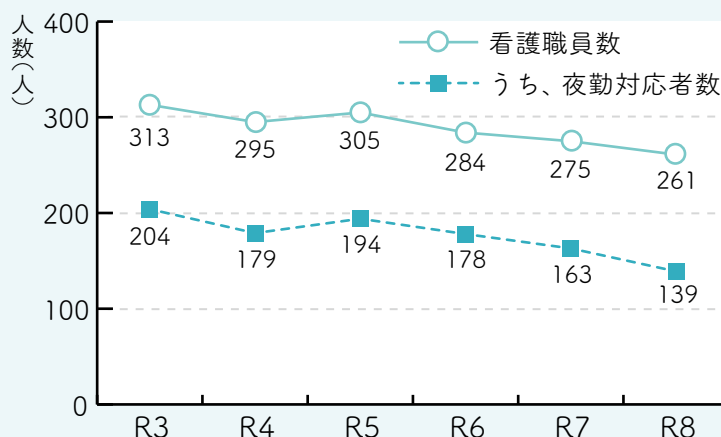


▲ 柏崎総合医療センター病院長 相田浩さん

地域医療のカギは、人材確保

現在、病院が抱えている最も大きな課題は、人材の確保です。医師や看護師だけでなく、栄養士や調理師なども慢性的に不足しています。人口減少により、今後はさらに厳しくなることが予想されます。また、検査や手術などに使う設備の更新に多くの費用が必要で、経営面でも厳しい状況です。

地域医療を守るためには、人材確保と地域の皆さんのご理解・ご支援が欠かせません。



▲ 医療センター看護職員の人数（各年4月現在）
看護職員の人数が減少傾向にあり、特に夜勤を担う職員の確保が難しくなっています。

若手医師を育て、未来につなぐ

限られた人員体制で質の高い地域医療を提供するため、病床数の見直しや近隣病院との役割分担・連携を進めています。また、研修医の受け入れにも力を入れ、若手医師の育成に取り組んでいます。

将来の地域医療を支える人材を育てることは、地域の基幹病院として大切な役割だと考えています。



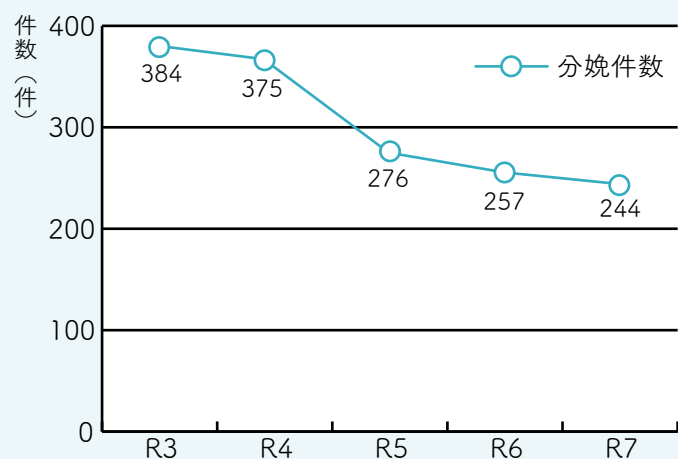
▲ 2年間の臨床研修に取り組む若手医師たち
令和4(2022)年4月から令和8(2026)年4月までに、20人の研修医が着任しています。

出産も、がん治療も

地域の基幹病院として、今後最も重要な役割は、救急医療や災害医療を守ることです。また、出産やがん治療など地域に必要な医療をできる限り維持したいと考えています。

出産は、対応できる病院がない自治体もある中、妊婦さんやご家族の負担を軽減するためにも重要な医療です。

がん治療も、多くの方がかかる病気であるからこそ、住み慣れた地域に必要な医療を受けられることが望めます。手術、化学療法や放射線治療を支えるスタッフの確保に加え、設備の維持・更新が欠かせません。一方で、全ての医療を一つの病院だけで担うことは難しいため、地域全体で支える体制づくりを進めていきます。



▲ 医療センターでの分娩件数（各年度）

市内で安心して出産できる環境を守るためにも、分娩件数の維持が望めます。

「ありがとう」が大きな励みに

地域医療を守るためには、病院だけでなく、地域の皆さん一人一人の力が必要です。その思いや行動が、これからの地域医療を支える力になります。

もしも体調が悪いときは我慢せず、必要に応じて救急車や電話相談を利用してください。早めの受診は重症化を防ぎ、限られた医療資源を大切に使うことにもつながります。そして、さまざまな職種の医療従事者が力を合わせて医療を支えています。

「ありがとう」の一言や温かい気持ち、地域の皆さんの理解と協力が、医療従事者にとって大きな励みになります。

地域医療は、医療機関や医療従事者だけでは守れません。適切な受診や日頃の健康管理、そして医療を支える人への思いやり。私たちにできることから、地域医療を守っていきましょう。

インタビューの
詳細はこちら ▶

